

会津大学 マルチメディアセンター

システムご利用案内



インターネットホームページアドレス/

<http://www.mmc-aizu.pref.fukushima.jp/>

The University of Aizu Multimedia Center

Introduction

あいさつ



会津大学マルチメディアセンター長
野口 正一

地球上 最大規模のシステムとして、人間社会の経済活動はもとより、教育、文化のあらゆる側面に関わっているのが情報システムであり、それを支えているのがコンピューターであります。

このコンピューターの世界が近い将来、ギガビットレベルの超高速ネットワークで結ばれ、文字どおりコンピューターネットワークを中心とした本格的な情報化時代を迎えることとなります。改めて考えれば、今後の人類社会は、全世界的なレベルで産業活動から日常活動に至るまで、情報ネットワークを基盤として発展し、新しい社会を構築することになります。

このとき、最も重要となるのは、この社会における情報のコンテンツ、言い換えれば新しいマルチメディア情報の創出であります。この情報は今後、産業、教育の分野はもちろんのこと医療、福祉、そして新しいエンターテインメントの世界を変革してまいります。

この新しいマルチメディア情報の創出をどのようにすれば良いのでありましょうか。これに対し、解決を与えていくのが当マルチメディアセンターの責務であります。

教員の50%以上が外国人教員の占める会津大学は平成5年に開学し、コンピューターサイエンスの最前線の研究が着実に進展しており、この環境の中でマルチメディアセンターは、高度情報化社会の実現に向けて大学とともに発展してきているところであります。

さて、当センターは、現在の立体映像、立体音声等のマルチメディア技術を体験できる施設を含め、ヒューマンパフォーマンス解析システム（人間の動作を解析する研究施設）、さらにマルチメディア高速データ通信のためのATM関連機器等を備えており、これからの技術革新に対応できる設備、機器を有しております。

今後、会津大学マルチメディアセンターが県民に開かれた施設として、県内の高度情報化の推進において大きな役割を果たすとともに、地域から世界に向けた情報の受発信においても革新的な技術開発の推進に寄与できるよう努めてまいりたいと思います。皆様のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

The University of Aizu Multimedia Center

Contents

目次

- Page.3 利用案内
- Page.4 エントランスホール
- Page.5 3Dシアター
- Page.6 セミナールーム
- Page.7 CGクリエイトルーム
- Page.8 サウンドクリエイトルーム
- Page.9 運動解析ルーム
- Page.10 研究開発室
- Page.11 申込書類



会津大学マルチメディアセンター利用案内

1. 開館時間 午前9時～午後5時

2. 休館日 土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始

3. 使用料
- (1) 施設使用料/ 高速グラフィックスコンピューター (ONYX,ONYX2)以外の機器の利用
1人・半日 1,050円
1人・1日 2,100円
1人・1ヶ月 42,000円
半日は、午前9時から正午、または午後1時から午後5時まで。1日は、午前9時から午後5時まで。
 - (2) 機器使用料/ 高速グラフィックスコンピューター (ONYX,ONYX2)
1台・1時間 7,530円
 - (3) 研究開発室/ 1人当たり 年/420,000円

4. 申し込み方法 (1) 施設及び機器の使用

使用する具体的設備・機器の空き等についてはお問合せ下さい。
上記を確認後、11、12ページに掲載した施設利用許可申請書（様式第1号）または機器使用許可申請書（様式第2号）をコピーして、必要事項記載の上、原則として使用予定日の2ヶ月前から15日前までの間に、所要額の福島県収入証紙を添えて、下記までお申し込み下さい。

申し込み先住所/ 〒965-8580（大学の専用番号ですので住所の記入不要です）

所在地/ 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合90番地

問い合わせ先/ 会津大学事務局企画課広報連携係

TEL.0242-37-2510 FAX.0242-37-2546

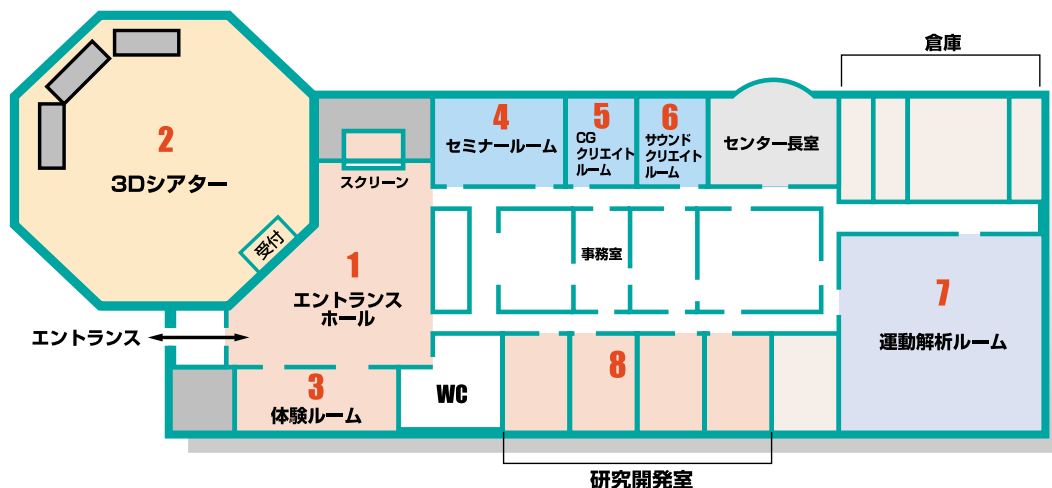
e-mailアドレス mmc-adm@mmc-aizu.pref.fukushima.jp

使用許可後、別途アカウント申請が必要な設備・機器もあります。
当センターで利用する映像・音声等の著作権に関する問題は、全て利用者で対処願います。

(2) 研究開発室

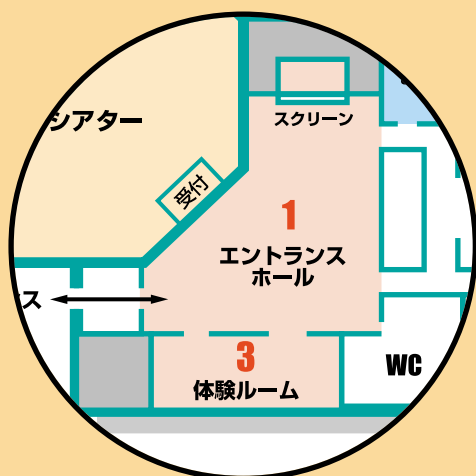
原則として、毎年2月から3月頃に公募を致します。

14ページの会津大学マルチメディアセンター研究開発室使用許可申込書によりお申し込み下さい。
申込内容を検討の上、入居者を決定します。



Entrance Hall

エントランスホール



ホール全体

主な機能

160インチ・マルチスクリーンを利用した、50人程度までの各種プレゼンテーション、映像鑑賞。映像ソースとしては、LD、HD-LD、VHS、コンピューター画面など利用可能。マルチウインドウシステムによる多様な情報表示。

主な機器・ソフトウェア等

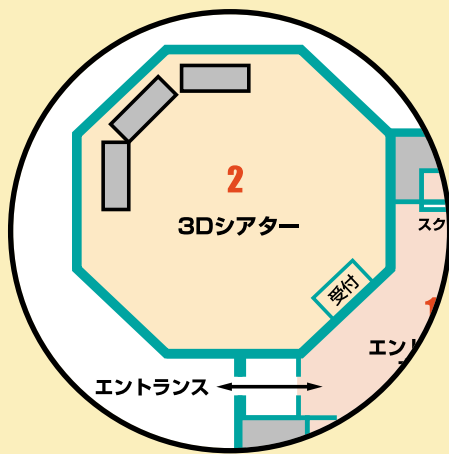
- 大型マルチプロジェクション
PIONEER RM-V4000V 16台
- マルチビデオプロセッサ
PIONEER RMD-V2170 1台
- TV/CS/BS/文字放送チューナー
SONY SAT900TV 1台、TOSHIBA TT-X700 1台
- レーザーディスクプレーヤー
PIONEER LD-V540 1台
- HD ビデオディスクプレーヤー
PIONEER HLD-V500 1台
- ビデオディスクレコーダー
PIONEER RM-V4000V 1台
- S-VHS ビデオレコーダー
PIONEER RM-V4000V 1台
- マルチメディアスキャンコンバーター
アストロデザイン MC-2001 1台
- パーソナルコンピューター (Windows・MS-DOS)
NEC PC-9801他 2台



バックヤードの機器

3D Theater

3Dシアター



ホール (スクリーン含む)

主な機能

3面マルチスクリーン (160インチ×3面)、および17台のスピーカーを利用した、映像・音響の3次元人工世界の体験 (最大40名まで収容可能)。レーザーディスクプレーヤー・ビデオディスクレコーダーおよび、グラフィックスコンピューター (ONYX)映像出力可能。

主な機器・ソフトウェア等

3面マルチスクリーン

大型マルチプロジェクション PIONEER RM-V4000V 48台
マルチビデオプロセッサ PIONEER RMD-V2170 3台

VR音響システム (2音源の定位・音場をコンピュータ制御)

NEC PC-9801BAJ 1台
スピーカー接続チェックプログラム
VR音響コントロールプログラム
VR音響作成支援プログラム
DAユニット (音源のD/A変換) 1台
DASP (Digital Audio Singn Processing) UNIT 1台
スピーカーシステム 15台
サウワーファア 2台

グラフィックスコンピュータ

SGL ONYX Reality Enigin2 2CPU 1台
マルチチャンネルオプション
スペースボール
irix 各種開発環境

サウンドサーバ

SGL ingigo2 1台
irix 各種開発環境

レーザーディスクプレーヤー

PIONEER KD-V800 3台

ビデオディスクレコーダー

PIONEER VDR-V150 3台)



天井のスピーカー



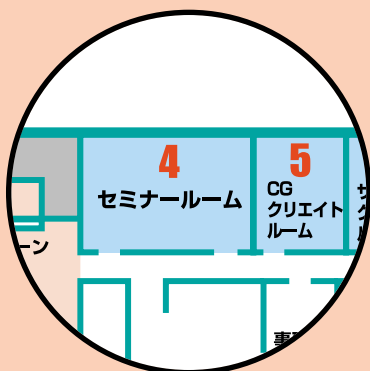
ONYX、Indigo2



操作室の機器

Seminar Room

セミナールーム



主な機能

全13台のコンピューターを利用した、インターネット、イントラネット、Java,CG等の各種講習会の実施
(3DCGソフトの利用は6台のみ)

デジタルビデオカメラ、デジタルスチールカメラ、APSカメラ、フィルムスキャナーを利用した画像合成、
および映像作成(主にWeb向け)

70インチプロジェクターを使用した各種プレゼンテーション。

主な機器・ソフトウェア等

PC/AT互換サーバ型パーソナルコンピューター	1台
PC/AT互換デスクトップ型パーソナルコンピューター	6台
PC/AT互換ノート型パーソナルコンピューター	6台

オペレーティングシステム

Windows NT	1サーバ12クライアント
Turbo Linux Pro	13ライセンス

イントラネット環境

イントラネット・グループウェア統合環境	1サーバ12クライアント
PDFドキュメント作成ツール	13ライセンス
グラフィック作成ツール	13ライセンス
Webページ作成ツール	13ライセンス
ビデオ編集ツール	13ライセンス

Javaコンピューティング環境

Visual Cafe for Java	13ライセンス
Orbix Web professional	13ライセンス
Macromedia Director	13ライセンス
Oracle8 Enterprise Editor for Windows NT	1サーバ、20NTクライアント

CGシステム環境

Light Wave 3D	7ライセンス
Softimage 3D/EX	7ライセンス

デジタルビデオカメラ	2台
デジタルスチールカメラ	2台
APSカメラ	1台
フィルムスキャナ	1台
LANアナライザ	1台

マルチメディアサポーターティングシステム

70インチ高精細ディスプレイ	HITACHI C70-2020R-A	1台
AVコントローラ	HITACHI AV300E	1台
書画カメラ	HITACHI HV-C10A	1台
Hi8ビデオカメラセットレコーダー	SONY EV-NS7000	1台
ステレオパワーミキサー	BOSE 270SMX	1台
スピーカー	BOSE 301AVM	1セット

CG Create Room

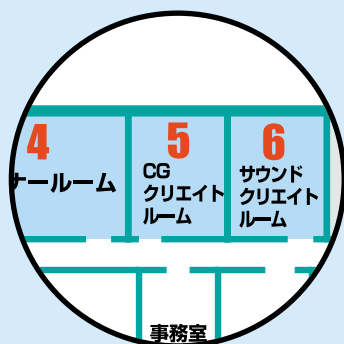
CGクリエイトルーム



CG (O2/PC/Mac)



AVID/ラック機器



主な機能

各種3DGソフトでのモデリング～レンダリング処理、及びCGアニメーション作成。
画像合成・ノンリニア編集機によるCG及び実写の画像合成や合成カット編集。
ONYX2による高速画像処理。

主な機器・ソフトウェア等

ハイエンドCG制作システム

SGI ONYX2 Reality(2CPU) 1台
SGI O2 R5000SC 1台
ONYX/O2共通ソフトウェア
(Alias Maya、Softimage3D/ExtremeFX、Houdini、PRISUMS)

PC/Mac系 CG制作システム

PC98NX MA30E 1台
Power Mac 9600/300 1台
(New Tek Light Wave3D、Macro Media Director)

ノンリニア編集システム

Apple Power Machintosh 9600/300 1台
(Avid MC 1000 8/2D、Avid Media Composer)

画像合成システム

SGI O2 R5000SC 1台
(Discreet Logic Effect Option3)

デジタルベータカムVTR

SONY DVW-500 1台

DATテープレコーダー

PCM-7040 1台



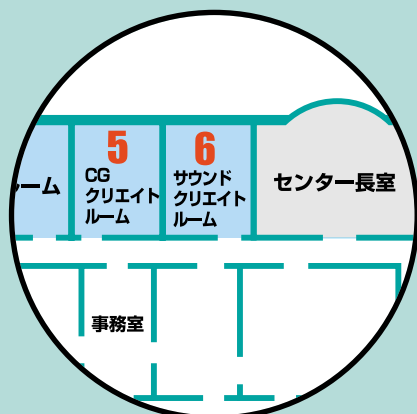
画像合成 (O2)



ONYX2

Sound Create Room

サウンドクリエイトルーム



MIDI機器 (キーボード・ラック・Mac)

主な機能

キーボード・トーンジェネレーター・エフェクタ等各種MIDI機器を使用してのBGMやサウンドエフェクト等のサウンドトラック作成。

DAT/CD-ROMへのレコーディング。

主な機器・ソフトウェア等

MIDIサウンド編集レコーディングシステム

YAMAHA VP1(キーボード音源)	1台
YAMAHA VL1(キーボード音源)	1台
YAMAHA TG500(FM音源)	2台
YAMAHA SPX990(エフェクター)	2台
AKAI S3000i(サンプラー)	1台
YAMAHA CBX-D5(ハードディスクレコーディング)	2台
Opcode Systems Studio 5LX(MIDIパッチコントローラー)	1台
YAMAHA Pro Mix01(ミキサー)	2台
Power Machintosh 8100(シーケンサー)	1台
SONY DTC-A7(DATレコーディングプレーヤー)	1台

Studio Vision Pro J

音響空間シュミレーションシステム

Power Machintosh 8100	1台
-----------------------	----

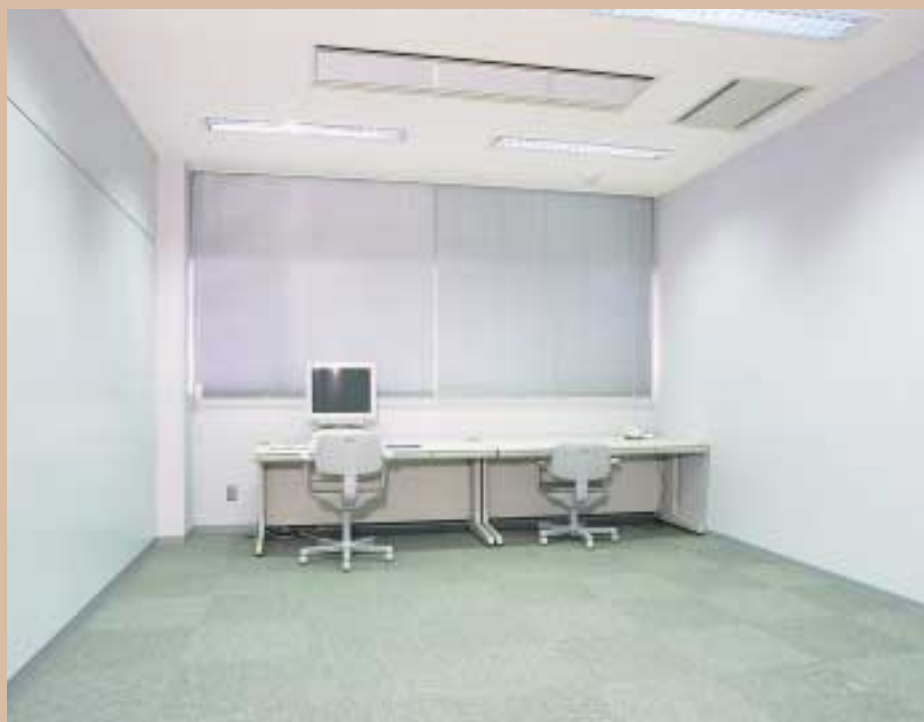
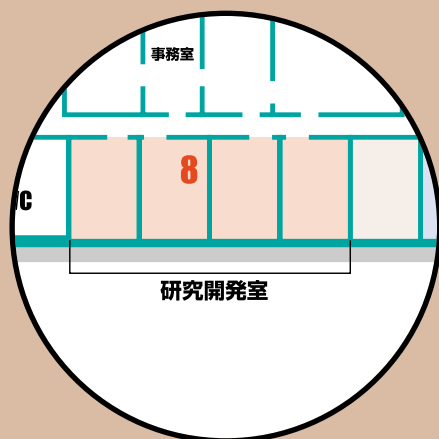
(Opcode Max、Sound Generator、MIDI Control、Assign Editor、Sound Object Editor)

CDRコントロール

FUJITSU S-4/20(ワークステーション)	1台
(Solaris2.3、CD Expert)	
YAMAHA CDE100-H10(CDレコーダー)	1台

Research & Deveropment Room

研究開発室



部屋全体の様子

使用対象者

マルチメディアに関する技術開発（ソフトウェア、ハードウェア）を行う企業、団体等。

1室の面積及び使用できる設備・機器など

研究開発室の面積 / 24

貸与設備等 / 机、いす、電気、水道、ネットワーク（インターネット常時接続：10Base-T）、内線電話（1回線）は使用可能です。ただし、室内で自ら使用するコンピュータおよび周辺機器、電話回線及びFAX等の機器は、使用者が準備し、使用后現状に回復して下さい。高速グラフィックスコンピューター（ONYX、ONYX2）を除く、その他のものは無料で使用出来ます。なお、使用にあたっては予約が必要です。

使用期間

各年度の4月1日から3月31日までの1年間です。

（原則2年以内、センター長が特に認める場合は、3年までの期間延長ができます。）

Movement Analytical Room

運動解析ルーム



Viconカメラとフォースプレート(床)

主な機能

3Dカメラによる、3次元位置データの収集およびデータ変換
(テキストデータ・アクレームフォーマット)
水晶式床荷重測定装置での床荷重データ収集。

主な機器・ソフトウェア等

3Dカメラシステム

Nac B/W HIGH SPEED CAMERA 200/60(3Dカメラ) 7台
Oxford Metrics Vicno370 Data Station 1台
PC98NX-Mate Server NX SV26D 1台
(Oxford Metrics Vicon370、Oxford Metrics Vicon Body Builder)

床反力解析システム

kistler フォースプレート Z15907 14台
kistler 8ch チャージアンプ 9865C 14台
PC-9821 2台
(制御・チェック・通信プログラム、16ch データ取込みプログラム、
床反力解析プログラム)



データ収集PC(PCNX、PC-98)

許可 年月日	年 月 日	許可 番号	第 号
-----------	-------	----------	-----

施設使用許可申請書

年 月 日

会 津 大 学 学 長

住所又は所在地
申請者 氏名又は名称
及び代表者の氏名 印
(電話 - -)

次のとおり施設を使用したいので、許可して下さい。

使 用 目 的					
使用する施設の名称					
使用期日 及び使用時間	年 月 日 時 分 ~				
	年 月 日 時 分 ~ まで				
使用責任者の 住所及び氏名					
共同研究 該当の有無	有 (共同研究教員名) 無				
その他の参考事項					
許 可 条 件					
受付年月日 受付番号	年 月 日	受付者		使用料 合計	円
	第				

備考

1. 印の欄は記入しないこと。
2. 使用時間は、準備及び撤去の時間を含めて記載すること。
3. 該当の有無を で囲むこと。
4. 使用目的に関する資料等があれば添付すること。

許可 年月日	年 月 日	許可 番号	第 号
-----------	-------	----------	-----

機器使用許可申請書

年 月 日

会 津 大 学 学 長

住所又は所在地
申請者 氏名又は名称
及び代表者の氏名 印
(電話 - -)

次のとおり施設を使用したいので、許可して下さい。

機器の名称					
使用目的					
使用期日 及び使用時間	年 月 日 時 分~ 年 月 日 時 分~まで	年 月 日 時 分~ 年 月 日 時 分~まで			
確 認 欄	機 器 名 称	使 用 時 間	単 価	金 額	備 考
			円	円	
	職 氏名	印	合 計		
許 可 条 件					
交付年月日 受付番号	年 月 日 第	受付者		使用料 合計	円

備考

1. 印の欄は記入しないこと。
2. 使用目的に関する資料等があれば添付すること。

許可 年月日	年 月 日	許可 番号	第 号
-----------	-------	----------	-----

使用料免除申請書

年 月 日

福 島 県 知 事

住所又は所在地
 申請者 氏名又は名称
 及び代表者の氏名
 (電話 - -) 印

次の理由により使用料を免除して下さい。

施設名もしくは 機器の名称又は品名			
使用目的			
使用時間 又は単位数			
単 価 (円)			
金 額 (円)			
免除の申請理由			
使 用 料	免 除 の 根 拠	使用料	免 除 金 額
円			円
受 付 年 月 日 受 付 番 号	年 月 日 第 号	受 付 者	

備考

1. 印の欄は記入しないこと。
2. 不要の文字は抹消すること。

会津大学マルチメディアセンター・研究開発室使用許可申込書

平成 年 月 日

会津大学マルチメディアセンター長 様

申込者住所

申込者職・氏名 印

連絡先電話 - -

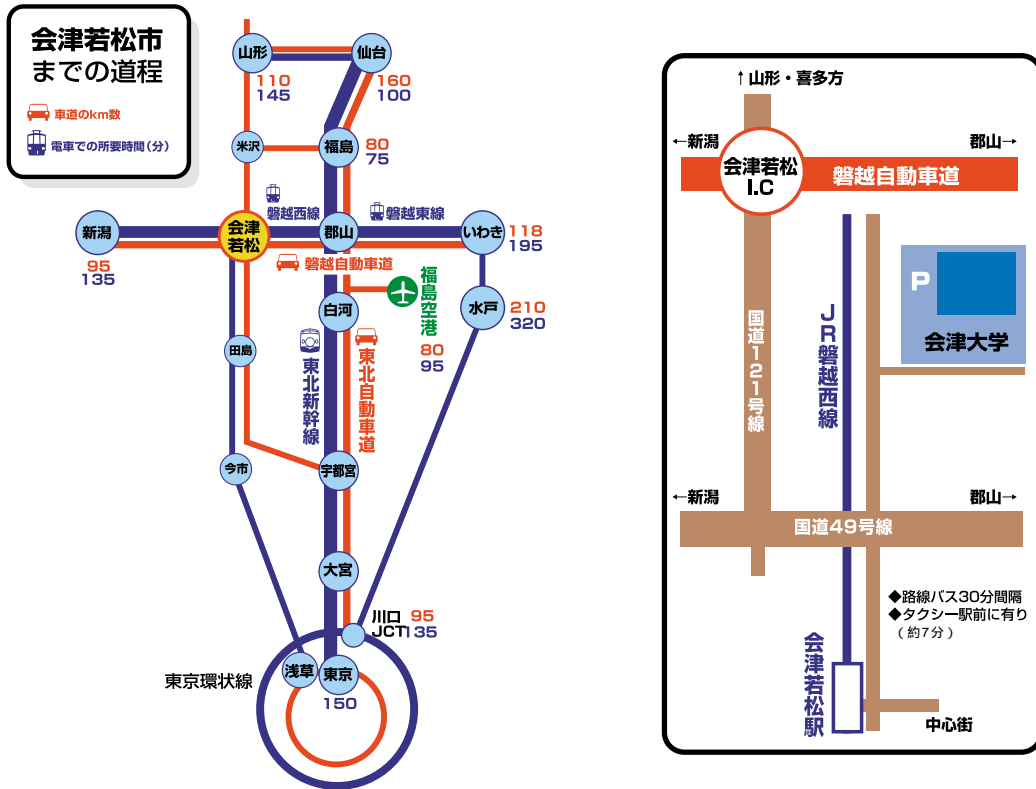
次のとおり施設を使用したいので、申しいたします。

使用者の住所 及び氏名	
使用目的	
使用を希望する 研究開発室以外の 施設及び機器	
使用を希望する 期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
会津大学教員との 研究協力等の有無	有 会津大学教員氏名： 無
その他の参考事例	

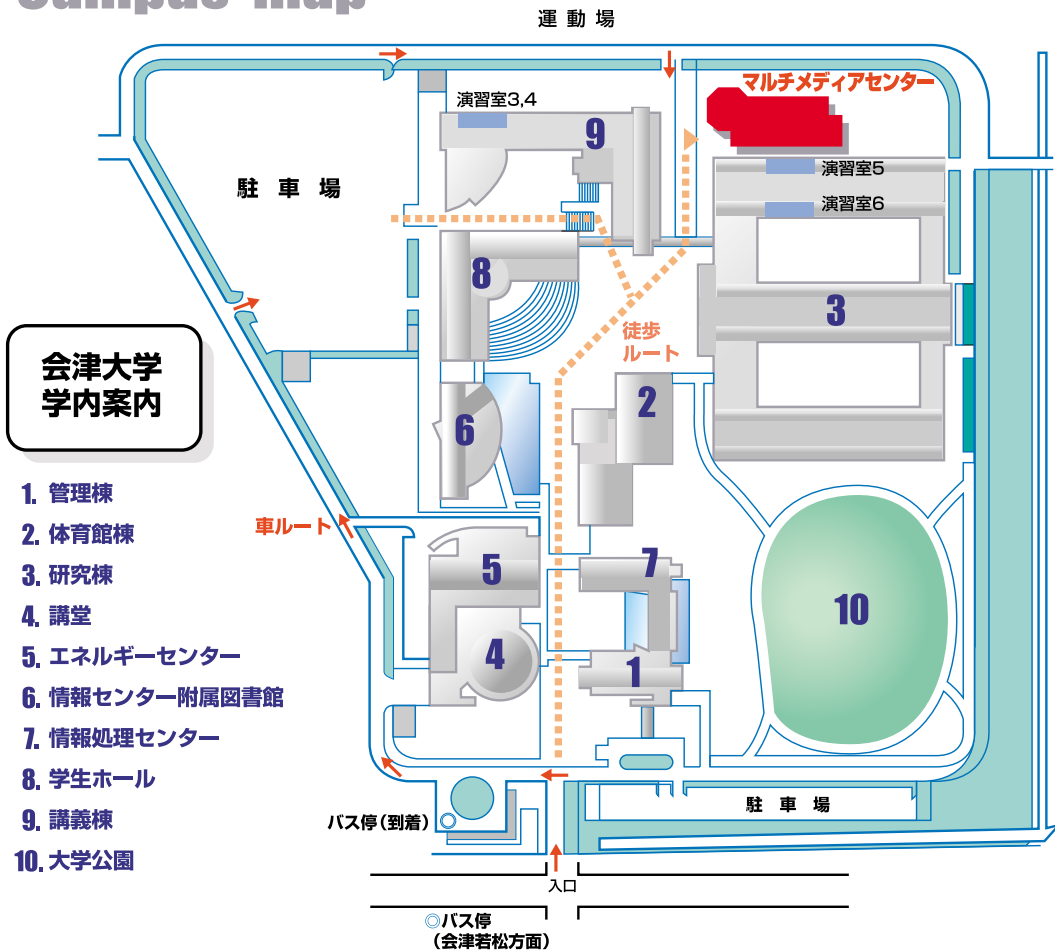
備考

- 1.使用期間は、準備及び撤去に要する日を含めて記載すること。
- 2.該当を で囲むこと。
- 3.企業又は団体の場合は、業績、活動内容がわかる関連パンフレット等の資料を添付すること。
- 4.使用者については簡単な略歴（現住所、最終学歴、現在の業務、研究開発を行う資質を示す資格などを記入）を添付する。
（様式は問わない）
- 5.使用目的を説明する資料等があれば、添付すること。

Access & Traffic



Campus map



会津大学マルチメディアセンター

〒965-8580 福島県会津若松市一箕町鶴賀字上居合90番地 TEL.0242-37-2510 FAX.0242-37-2546
e-mail mmc-adm@mmc-aizu.pref.fukushima.jp. http://www.mmc-aizu.pref.fukushima.jp/